

【徳島県上勝町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協動的な学びの実現～（令和3年1月）には、ICT環境の推進の重要性やもたらされる影響などが記載されている。その内容を踏まえ、上勝町教育委員会では、「第2次上勝町教育振興計画（上勝アララギプラン）」の中で、15年間の一貫教育の推進の主要施策として「情報活用能力の育成（ICT活用能力の育成、ICT環境の充実、GIGAスクールの充実）」を掲げており、1人1台端末の整備を始めとするICT環境の整備、情報教育の充実は必要不可欠となっている。

2. GIGA第1期の総括

GIGAスクール構想の実現に向けて、令和2年度に児童生徒用タブレット端末の整備を行い、「1人1台端末」を実現し、その後、令和5年度までに、学校教職員等にもタブレット端末が行き届くように整備してきた。この間に、ネット環境の改善（アクセスポイントの増加やインターネット契約を1ギガオプションプランに変更等）を行い、ネット環境の問題により授業に支障がでることがないように取り組んできた。また、できるかぎり教職員の現場の声を聴き、要望の多い学習支援ソフトを購入し、さらには、情報系に強くない教育委員会職員や教職員もいることから、情報関連の問題解決のため「ICT支援業務」を民間委託している。

しかしながら、タブレット端末の購入から5年が経過し、機器の故障や不具合等が増加し始めているため、新しいタブレット端末の購入が急がれる。さらには、ICT支援業務外の事案が発生した際に、原因が分からない場合も多い。また、教育委員会、教職員共にいえることではあるが、担当者への入れ替わりが激しく、ネット環境や機器設定の引継ぎ等が円滑にできていかないという大きな課題もある中、令和6年度にネットワークアセスメントを実施し、調査報告書をもとに現状の環境把握や課題点を見だし、今後に引き継いでいくことが期待される。

3. 1人1台端末の利活用方策

① 1人1台端末の積極的活用

タブレット端末に導入する学習支援ソフトの充実やドリル教材、デジタル教科書等の積極的活用を行い、児童生徒が自分で課題を調べ、考え、発表できるような授業を進めていく。また、多種多様化する学習支援ソフトについても、情報収集を行い、体験・研修する機会をつくり、児童生徒が学びやすい環境を常に考えていく。また、学校現場におけるクラウドサービスの積極的利用にむけた研修を充実させるとともに、教職員を中心にセキュリティ研修も実施していく。

②個別最適・協働的な学びの充実

タブレット端末及び学習支援ソフトを活用することで、個々で学ぶだけではなく、協働学習を行うことができる。いろいろな単元、学習のスタンスにあわせた形をとり、チャットツールや協働作業を皮切りに問題解決能力や発想力、コミュニケーション能力の向上を図る。また、児童生徒間だけではなく教職員とのやりとりも積極的に行い、交流・学びの枠をひろげることで、教職員との信頼関係を築き、AI 機能も有効に活用することで、児童生徒の特性や理解度に合わせた課題設定や授業を展開する。

③学びの保障

上勝町は、平成30年に「SDGs 未来都市」に選定されており、「だれ一人取り残さない持続可能なまち」を目指し、大きな3つの施策の1つに「教育の充実」が掲げられている。また、「児童生徒の自殺予防に係る取組について（通知）」及び「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLO プラン）」に記載されているように、1人1台タブレット端末を活用し、児童生徒の心や体調の変化をいち早く発見する取組を広げていく。

また、学校に来たくてもこれない児童生徒のため、オンライン授業や相談支援を行い多様な学びの場、強いては居場所の確保に努めていく。

以上の取組を実施するため、1人1台タブレット端末は必要不可欠である。GIGA 第2期において、1人1台タブレット端末の更新を行い、魅力有る学習環境の充実を図っていく。